

センター講堂で開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年の第17回開催が中止されて以来、5年振りの開催です。今回は初の試みとして、会場への参集とウェブ参加を併せたハイブリッド形式としました。

今回のメインテーマは「地域に根ざした新しい医療のかたち」で、ウェブ参加者47名を含め、計162名の方が参加しました。

基調講演は、山形大学大学院医学系研究科医療政策学講座の村上正泰教授による「持続可能な地域医療の実現に向けて」でした。

一般演題では、医療安全、医療連携・地域連携、チーム医療・在宅医療など広範にわたるテーマについて14演題の発表があり、各施設での成果が発表されました。

シンポジウムでは「地域医療を支える多職種連携」をテーマに、県内で取り組まれている事例についてご発表いただき、活発な意見交換がなされました。

ご支援ご協力を賜りました関係者の皆様に厚くお礼を申し上げ、開催のご報告とさせていただきます。

第12回群馬県支部学術集会

学術集会会長：独立行政法人地域医療機能推進機構
群馬中央病院院長 内藤 浩

2025年1月26日(日)に群馬県公社総合ビルにて学術集会を開催いたしました。

今回のテーマは「未来を切り開け～2040年問題に向けて～」とし、基調講演では厚生労働省保険局国民健康保険課長(前群馬県健康福祉部長)の唐木啓介先生に、教育講演では群馬大学大学院医学系研究科救急医学教授の大嶋清宏先生に講演をいただきました。

一般演題では4セッション19演題の発表があり、シンポジウムでは医療、看護、介護、行政から現場で活躍されている演者の先生を招き、それぞれの立場から現状や今後の課題等について講演と討論が行われました。

当日は医療関係者、介護関係者、学生など117名の方にご参加いただき、無事に開催することができました。

開催にあたりまして、多くの関係者の皆様にご協力いただきましたことを厚く御礼申し上げます。

第19回奈良県支部学術集会

学術集会会長：社会福祉法人恩賜財団済生会奈良病院
院長 久永倫聖

2025年2月1日(土)に「和の心で繋ぐ医療」～ESとPSの両立を目指して～をメインテーマにホテル日航奈

良にて第19回奈良県支部学術集会を開催しました。

特別講演は東京ディズニーランドオープンに伴い、初代ナイトカストーディアル・トレーナー兼エリアスーパーバイザーとして、ナイトカストーディアル・キャストの育成にご尽力された株式会社ヴィジョナリー・ジャパン代表取締役 鎌田 洋様をお招きし「CS向上のための組織文化の醸成と人材育成について」と題してご講演頂きました。

シンポジウムは「魅力的な職場づくりと新しい医療のカたち」をテーマに5名のシンポジストの先生方にご講演頂き、また、一般演題として85演題の発表があり、参加者も366名となるなど充実した学術集会となりました。

ご参加頂きました皆様をはじめ、開催に際しご支援、ご協力いただきました関係者の皆様へ厚く御礼申し上げます。

第25回大分県支部学術集会

学術集会会長：大分赤十字病院院長 福澤謙吾

2025年2月1日(土)にJ:COMホルトホール大分にて、第25回大分県支部学術集会を開催いたしました。

テーマを「私達の働き方改革」とし、県内外の25施設から87名のご参加をいただきました。

シンポジウムには、診療看護師(NP)や特定行為修了看護師による働き方改革、RPAによるDXの推進等、テーマに合わせた演題を5題発表いただき、活発なディスカッションを交わすことができました。一般演題には11題の発表をいただき、こちらも活発な意見交換が行われました。

特別講演では、鹿児島徳洲会病院情報システム管理室より福留雄策先生をお招きし、「鹿児島徳洲会病院における『DX』による業務効率化」と題しDXの取り組みをご講演いただきました。

大変貴重なご講演とご発表を聴講することができ、有意義な学術集会になったと感じております。ご参加いただきましたみなさまをはじめ、開催にあたりご支援、ご協力をいただきました関係者のみなさまには、心から厚くお礼申し上げます。

第19回和歌山県支部学術集会

学術集会会長：南和歌山医療センター院長
橋爪俊和

日本医療マネジメント学会第19回和歌山県支部学術集会が、2025年2月8日(土)、和歌山県田辺市の和歌山県立情報交流センタービッグ・ユーにて開催され、80名の参加がありました。今回は「超高齢化社会で抱